

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『神経活動とタウの蓄積との関係の解明』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009 年 4 月より 2024 年 12 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で「国立精神・神経医療研究センター(NCNP)のブレインバンクとその運営」の研究に参加された方

【研究期間】

2022 年 11 月 28 日より 2025 年 3 月 31 日まで

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第五部
荒木 敏之

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

アルツハイマー病の脳には、神経原線維変化という特徴的な病理が見られる。神経原線維変化の出現範囲が広がると認知機能障害を呈するため、神経原線維変化が出現するメカニズムを理解することはアルツハイマー病の発症原因を理解することにつながる。神経原線維変化はタウというタンパク質が神経細胞内に蓄積したものである。本研究の目的は、タウが蓄積するメカニズムを理解することであり、現在得られている仮説を検証するために試料・情報を用いる。そのために、アルツハイマー病と診断されタウの蓄積が認められた対象者の凍結脳組織、及び、その対照としてタウの蓄積のない対象者の凍結脳組織をブレインバンクから提供を受ける。提供された脳組織に含まれるタウ、及び、現在注目しているタンパク質に関して解析を行う。それらの間の相関や試料提供者に関する情報（年齢、性別、診断名、病理検査の検査結果）との相関を調べる。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：凍結脳組織

情報等：被験対象者の年齢、性別、診断名、病理検査の検査結果

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

所属 疾病研究第五部 氏名 荒木 敏之

電話番号 042-341-2711 (代表)

e-mail : taraki※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

作成年月日： 2022年 11月 29日 第1.1版

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail：ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）